
九州運輸局メールマガジン 平成 29 年 6 月 22 日 第 360 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 29 年 7 月 6 日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・「小型船舶安全パトロール」を実施しました～小型船舶の安全確保にむけて～
- ・海事施設見学会・職場体験会を開催しました～北九州市内の中学生を案内～
- ・鹿児島市において「グリーン経営推進講習会」を開催しました～環境問題に経営面でも取り組んでいく事業を推進～
- ・九州内の 3 大学において「物流講座」を開設しました～産官学共同で物流産業人材育成に向けた講義を実施～
- ・関門トンネルで総合防災訓練が実施されました～本格的な雨の季節に備えて～

2 お知らせ

- ・「2017 ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」応募作品の募集について

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場レポート

◆ 「小型船舶安全パトロール」を実施しました

～小型船舶の安全確保にむけて～

◎福岡運輸支局及び若松海事事務所は、6 月 4 日（日）、関門港において福岡県門司警察署と合同で「小型船舶安全パトロール」を実施しました。

◇内容等詳細は、こちらからご覧下さい。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_360_1.pdf
（福岡運輸支局門司港庁舎）

◆ 海事施設見学会・職場体験会を開催しました

～北九州市内の中学生を案内～

◎福岡運輸支局及び若松海事事務所は合同で、6 月 7 日海事施設見学会に北九州市立白銀中学校 2 年生 39 人を、6 月 9 日職場体験会に同市立門司中学校 2 年生 13 人を案内して海事産業の周知活動を行いました。

◇内容

・6 月 7 日は、同市門司区の阪九フェリー株式会社のカーフェリー「つくし（総トン数 13,353 トン）」の見学、旧大連航路上屋にて「船の世界について」の講座、さ

らにマルイ運輸株式会社にて冷蔵倉庫を見学しました。

・6月9日は、海の仕事の職場体験として、阪九フェリー「つくし」の見学と救命胴衣着用体験、太刀浦コンテナターミナルでヤードの見学、門菱港運株式会社の倉庫及び上屋でのコンテナ荷役作業見学、関門水先区水先人会の水先人の業務紹介を行いました。

・フェリーの見学会では、マスコミ取材があり、参加した生徒からカメラに向かって「父親が海事関係の職場に勤務しており海事職場体験に申し込んだ。重要な仕事であることを知った。」とのコメントがありました。

◇福岡運輸支局からのメッセージ

福岡運輸支局及び若松海事事務所は、今年度、さらに2回程度海事施設見学会を予定しており、今後も海への興味・関心を高めるため連携して取組みを進め海事産業の人材育成に努めていきたいと考えています。

(福岡運輸支局門司港庁舎)

◇見学会等の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_360_2.pdf

◆鹿児島市において「グリーン経営推進講習会」を開催しました

～環境問題に経営面でも取り組んでいく事業を推進～

◎九州運輸局では、6月8日～9日に公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団と連携して「グリーン経営推進講習会」を開催しました。

◇概要

・6月8日：参加者 バス・タクシー事業者 13社 17名

・6月9日：参加者 旅客船・内航海運・港湾運送・倉庫・トラック事業者 23社 31名

・講師：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 吉川博之氏、山田英夫氏

◇内容

・運輸部門における地球温暖化対策として、環境に配慮した経営（グリーン経営）の推進が重要であることから、国土交通省と公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、運輸事業者を対象とした中小規模の事業者でも容易に、かつ継続的に環境保全に取り組むことのできるグリーン経営の普及を推進しており、毎年各地で講習会を開催しています。

◇九州運輸局からのメッセージ

・グリーン経営認証制度は、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が認証機関となっており、マニュアルに基づく事業者の経営改善の努力を客観的に証明して公表することによって取り組み意欲の向上を図り、運送業界における環境負荷の低減につなげています。

・九州運輸局としては、今後とも運輸部門の温室効果ガス削減に向け、本講習会をはじめさまざまな取り組みを行っていきたくと考えています。

(交通政策部 環境・物流課)

◇講習会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください

い。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_360_3.pdf

◆九州内の3大学において「物流講座」を開催しました
～産官学共同で物流産業人材育成に向けた講義を実施～

◎九州運輸局では、6月8日・12日・13日に九州内の3大学ならびに物流事業者の協力を得て「物流講座」を開催しました。

◇概要

- ・6月8日：大分大学経営学部（大井准教授）受講生約120名
講師：ヤマエ久野株式会社 宮寄務氏
- ・6月12日：長崎県立大学経営学部（山本教授）受講生約140名
講師：山九株式会社 岡崎智子氏
- ・6月13日：西南学院大学商学部（福田教授）受講生約120名
講師：株式会社九州丸和ロジスティクス 平野健治氏、郷原良和氏

◇内容

「物流」は、我が国の産業の持続的な成長と豊かな国民生活を支えていくためには必要不可欠な産業であり、その役割は今後ますます重要になる一方で、少子高齢化に伴う労働力不足が大きな課題となっている現状にあります。国土交通省では、そうした課題の軽減、解消に向けて物流を学ぶ大学生に物流業界を就職先の選択肢として具体的にイメージしていただくよう、物流事業者から講師派遣の協力を得て「物流講座」を開催しております。

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・受講した学生からは「物流は、泥臭いイメージがあったが、スピーディーでクールだと感じた」「想像以上に自動化されていて、小売店の負担も考慮している」「国境を越えてモノが動くことに様々な規制・法律が関わっていることを実感した」といった感想が数多く寄せられ、「物流」の重要性や役割を理解してもらうことで、より身近に感じてもらえたと感じています。また、「実際に現場を見ながら説明を受けたい」「就職活動の参考としたい」といった将来の就職先としてイメージを持った学生もいるようです。
- ・九州運輸局としては、今後とも便利で優しく、また人手不足にも負けない効率的な物流の実現を目指して、さまざまな物流政策を行っていきたいと考えています。
(交通政策部 環境・物流課)

◇物流講座の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_360_4.pdf

◆関門トンネルで総合防災訓練が実施されました
～本格的な雨の季節に備えて～

◎九州旅客鉄道株式会社（JR九州）では、6月9日（金）に北九州市門司区の関門トンネル上り線にて、JR西日本、JR貨物、福岡県警鉄道警察隊、門司消防署等の関係機関参加のもと、平成29年度の「関門トンネル総合防災訓練」を実施し

ました。九州運輸局からは岩本局次長を始め5人が参加、中国運輸局から矢嶋鉄道部長と大林安全指導課長の2人が参加しました。

◇内容

・訓練は、昭和28年に発生した集中豪雨によりトンネル内に洪水が流入し、本州と九州を結ぶ主要鉄道が不通になったという教訓から毎年実施されており、本年度で64回目の訓練になります。また、参加人数も180名を超える大規模なものです。

・訓練の開始にあたって、JR九州の江副安全創造部長、九州運輸局の岩本局次長が挨拶に立ち、訓練の意義と重要性について述べられました。その後、以下の想定で訓練が開始されました。

「門司区において200mmを超える降水で、関門トンネルに警備発令が出された。おりしも上り電車がトンネル内を走行中故障により走行不能となり、トンネル内で停車した。このため、救援列車にて救援し脱出後、その後もトンネル内に大量の雨水が流入するおそれがあるため、トンネルの防災扉を閉鎖する。」

・訓練は、運転士、車掌及び指令に連絡後、列車連結作業を行い門司駅まで列車を移動し乗客を救護することから始まり、その後、保線区、電力区、通信区間の連携によりトンネルの防水扉の閉鎖作業、土のうによる止水作業、電車架線の切り離し作業等が決められた手順でテキパキと進められ、予定された訓練は全て滞りなく終了しました。

◇訓練を終えてJR九州からのメッセージ

JR九州では、今後も訓練等を通じて安心安全な鉄道運行をめざし、災害や事故による被害の低減や迅速な復旧を行えるよう取り組んでいきます。

◇訓練の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_360_5.pdf

2 お知らせ

◆「2017 ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」応募作品の募集について
公益財団法人日本海事広報協会では、全国の小学生・中学生・高校生を対象に「船」や「海運」などのことを調べて作る新聞を募集しています。

応募要領等詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.kaijipr.or.jp/jsj/index.html>

3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部日より //

前号の編集部日より梅雨入りしたことをいしましたが、ご承知の通り九州地方は気象庁の梅雨入り宣言があった日に雨が降った以降、梅雨前線は南下したままずっと雨が降らない日が続きました。そして、一昨日、雨となった途端に九州南部は大雨警報の発令、九州運輸局も即座に注意体制【風水害】の発令。今

回は、翌日には注意体制も解除、何事もなくホッとしましたが、「梅雨前線さん、梅雨の間、集中豪雨はご勘弁を！」

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_360_6.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
